

甲賀市第2次観光振興計画第3期基本計画（案）に対する意見・質問 抜粋

資料4

意見箇所 頁・行・グラフタイトル等	意見・修正案・理由	修正の有無・方向性
P22	(3) 甲賀市DMOの構築体制のメンバーの中に信楽の陶器産業の2つの組合（信楽陶器工業組合・信楽陶器商業組合）を加えてはどうか。	イメージ図内のメンバーは、甲賀市観光未来会議の構成団体を元に記載しております。今後、どのような体制にしていくかの検討をすすめる中で、新しい組織体制であれば、構成団体をどうするか等についても継続して協議し、第3次観光振興計画の策定の際に、構成団体についても皆様で協議させていただければと考えております。そのため、現時点では修正なしとさせていただきます。
P18・6行目	「甲賀流忍者の末裔が今なお暮らす本物の忍者のまち―「杣」、「大工」、（後略）」との記述があるが、「城跡」、「杣」、「大工」、（後略）」が適切ではないか（築城技術は忍者の技能に通じ、「城跡」の存在は真実性を高めるため）	修正しました。
P19・7行目 P29・13～14行目	「水口岡山城」との記述があるが、「水口岡山城跡」が適切ではないか（指定名称及び「紫香楽宮跡」と合わせるため）	他ページも含め、「水口岡山城跡」に統一しました。
P19・8行目	「伝統様式、文化」との記述があるが、「伝統文化」が適切ではないか（伝統様式が何を指しているのかわからないため）	修正しました。
P24・基本事業 概要部分 3行目	「本物の忍者の実像につながる（後略）」との記述について、「本物の」を削除してはどうか。（本物と実像は意味が重複する印象があるため）	修正しました。
P29・6行目	「信楽焼の芸術性を核に各種の地域資源を織り交ぜながら、新たな信楽の発信による、（後略）」との記述があるが、「信楽焼の芸術性を核に地域資源を織り交ぜることで、新たな信楽を発信することにより、（後略）」が適切ではないか（信楽焼を核にしつつ、茶などの地域資源を組み合わせることで、新しい信楽に来てもらう、という趣旨にするため）	修正しました。

意見箇所 頁・行・グラフタイトル等	意見・修正案・理由	修正の有無・方向性
P29・表基本事業の③	<p>「<del>東海道を起点として</del>甲賀三大佛（<del>櫛野寺・大池寺・十楽寺</del>）のほか水口岡山城、田村神社等東海道沿いの観光施設のPR促進に努め、リニューアルした道の駅あいの土山を起点とし、宿場のまちなかや近隣地域に人が回遊するためのルート化等、相互連携に取り組みます。」として方がわかりやすいのでは？</p>	<p>「<del>東海道を起点として</del>甲賀三大佛の一つである<del>（櫛野寺・大池寺・十楽寺）</del>のほか水口岡山城、田村神社等東海道沿いの観光施設のPR（後略）」に修正しました。</p>
P36・10行目	<p>「焼き物」の記述を「焼物」に統一（P16・18行目は「焼物」）</p>	<p>「焼物」に統一しました。</p>
全体	<p>注釈番号をつけるか、用語集にまとめた方がわかりやすいのでは。</p>	<p>P2の用語集と、各ページ内「※」で説明されていた用語をまとめ、資料編に掲載しました。</p>